

ArtemiS SUITE
Project

Code 50020

APR 020 レポート

レポートはArtemiS SUITEの中心的な要素であり、フィルタリング、解析、及び統計的に処理された入力信号を、カスタマイズされたレポートにワンクリックで便利に表示できます。プールプロジェクト、自動化プロジェクト、標準化テストプロジェクト、音響インテンシティ測定、インパクト測定等、多くのプロジェクトに最適です。

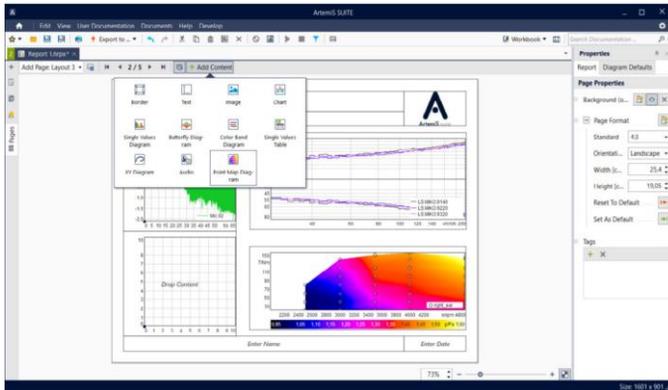
概要

APR 020 レポート

Code 50020

レポートを利用すると、解析結果、音データ(PowerPointプレゼンテーション上)、テキスト、画像、ドキュメント等をカスタマイズしたレポートにまとめ、PPTXやPDFファイルとして直接エクスポートできます。

レポートは、効率性と使いやすさに優れており、簡単な 1 ページのレポートから、多ページに亘る複雑なレポートまで幅広く対応できます。ユーザーの社内の様式に適合させることも、図、見出し、グラフィック、コメント等、ユーザーファイルに埋め込まれたドキュメントからデータを取得して自動挿入させることも可能です。



フィーチャー

便利なレポートを以下から生成

- › 既存データ
- › プールプロジェクト(APR 010が必要)
- › 自動化プロジェクト(APR 050が必要)
- › 標準化テストプロジェクト(APR 220が必要)
- › ...

PPTXまたはPDF形式へのレポートのエクスポート(PowerPointやAdobe Acrobatのインストールは不要。)

ダイアグラム、テキスト、画像、オーディオコンテンツ、単一値テーブル等のプレースホルダーを含む編集可能なページレイアウトテンプレートを利用して新しいレポートをカスタム作成。

ダイアグラム曲線の色と線の太さの編集、ダイアグラム内の拡大縮小とズーム、個々のフィールドの位置とサイズの調整、テキストの変更

新しいレポート作成のためのテンプレートとしての再利用

- › 比較可能なマーク、解析結果等を用いてレポートを作成する際の自動データ連結
- › レポートテンプレートの複製

PPTXレポート作成後にPowerPointでレポート編集

PowerPointアドインのHEAD Interactive Diagram (APR 00に付属)は、レポート作成後に利用できます。

アプリケーション

- › 複雑な解析結果も、シンプル、迅速、直感的にカスタマイズしてデータ表示
- › レポートの自動生成
- › ArtemiS SUITEの多くのプロジェクトやツールとの相互連携

詳細

様々な便利ツールが日常業務を容易にします。複雑なレポートでもすぐに作成できます。

ページオーバービュー

- レポート内の全ページを一目で確認でき、任意のページに直接アクセスできます。
- ページの編集、削除、移動

レイアウトツール

- アクティブなPowerPointプレゼンテーションで使用されているページ形式の踏襲利用
- フィールドを整列させるための「グリッドにスナップ」機能(テキスト、図、ロゴ等)
- ダイナミックレイアウトの作成、管理、編集
- 現在のレポートで利用可能なすべてのレポート要素を他レポートへも適用可能

データ連結

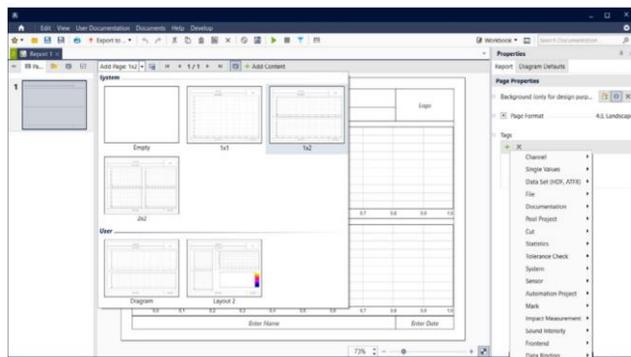
- ワンクリックでわかり易くデータ連結
- 任意の数の時刻歴信号と解析結果を1つのダイアグラム領域に表示

単一値テーブル

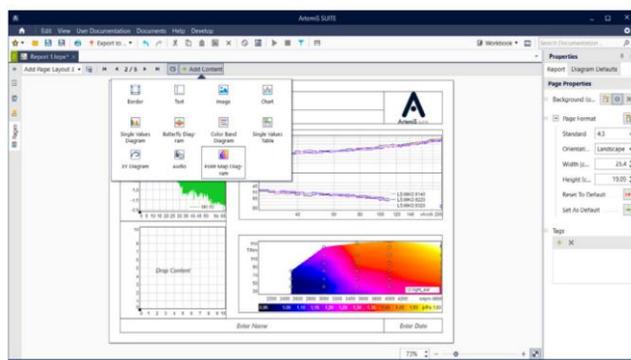
- 単一値をテーブル形式でレポートに統合可能

ダイアグラムの編集

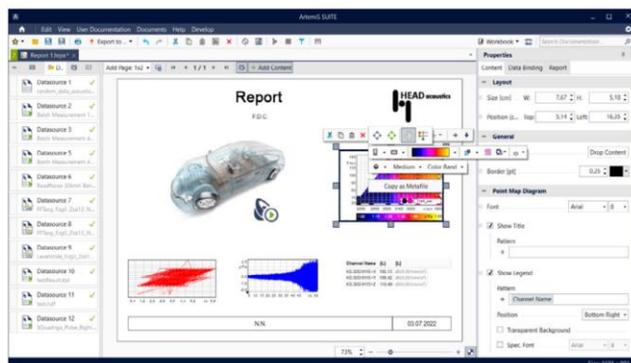
- ダイアグラム曲線間のスペース強調表示 (公差逸脱の可視化等)
- 図中の重要ポイントの強調表示



様々なテンプレートが利用可能



PowerPointと同様に、利用可能なレポート要素を選択してレポートに含めることができます。



テキスト、画像、図表を編集できます。このレポートに基づいて標準化されたレポートを追加で作成する場合、ダイアグラムの設定やその他のパラメータが維持されます。

特殊ダイアグラム

単一値ダイアグラム

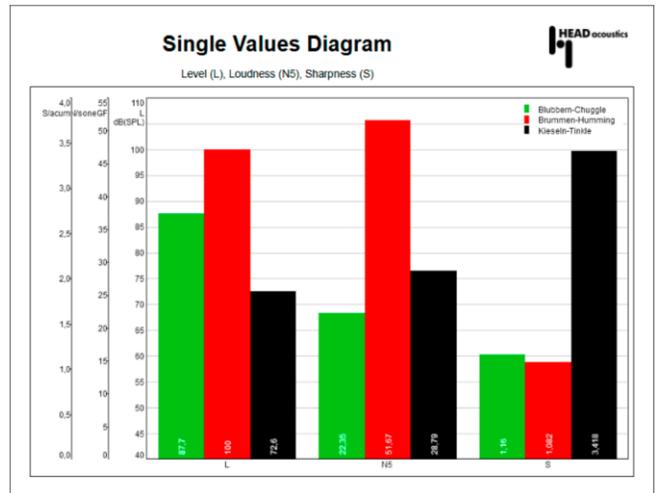
- 単一値(HDFまたはHSVXファイル)を棒グラフでグラフィック表示
- 複数の単一値(最小値、最大値、平均値)を1つに結合してデータバーとして視覚化 (例: 異なる測定データの最大値または平均値 vsチャンネル)

XYダイアグラム

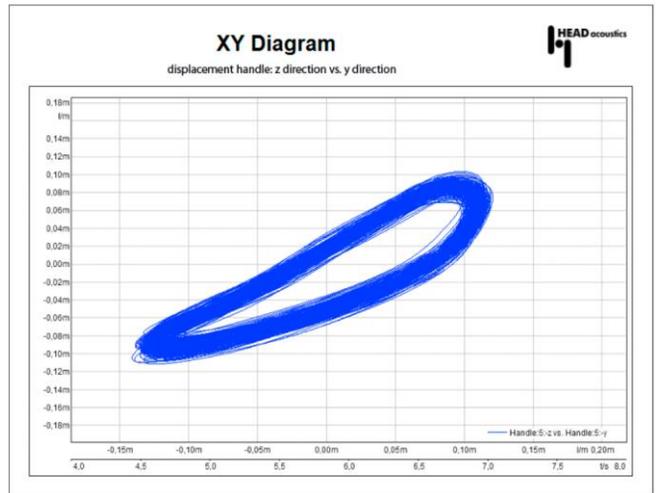
- 1つまたは2つのHDFファイルの2つのチャンネルとひとつの共通の時間軸との関係のグラフィック表示 (同じ物理量と単位、及び共通の横軸)
- 時間データ、2D解析 vs 時間/ RPM、...
- 個々の負荷サイクルを視覚化するためのズーム機能等
- 振動形状の視覚化 (Z方向の振動形状とY方向の振動形状)
- 部品等の振動の表示

カラーバンド図

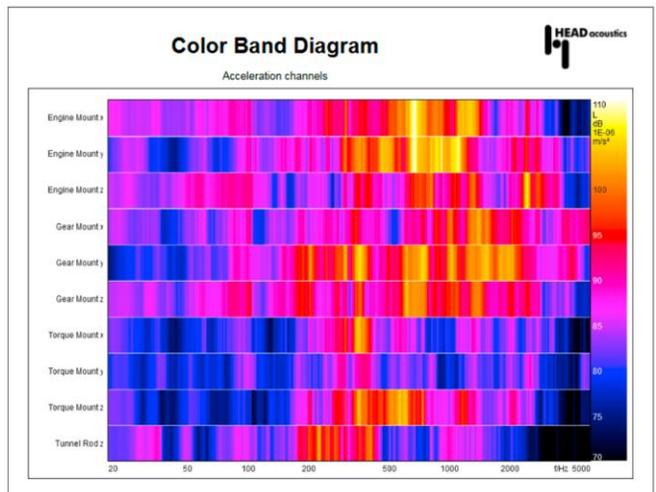
- 1つの図に複数の2D結果を明確に視覚化、複数チャンネルの場合等全体を一目で確認できます。
- 2D曲線をカラーバンドとして同時に表示します。(横軸と縦軸の複数表示が可能。)
- 縦座標の色分け
- 時刻歴信号と2D解析結果の表示(複素データの絶対値)
- 「パターン」を即座に識別・比較
- 顕著な信号成分を即座に検知でき、多チャンネル測定性能向上に寄与
- 伝達経路解析のクリアな経路表示



単一値ダイアグラム



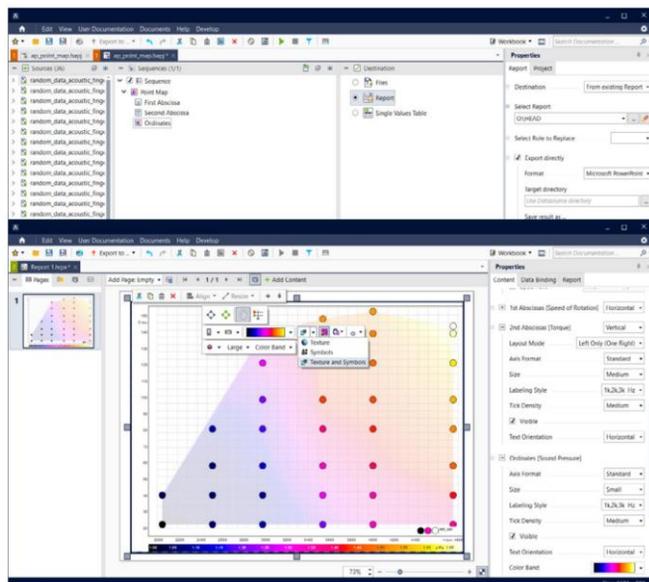
XYダイアグラム



カラーバンドダイアグラム

ポイントマップダイアグラム

- ▶ 単一値を2つの参照量の関数としてグラフィック表示
- ▶ 対応するデータセットを、ポイントマップ及び、ニーズに応じてポイントマップラスタライゼーションを利用して、オートメーションプロジェクト(APR 050が必要)で作成できます。



ポイントマップダイアグラム：一連の自動化プロジェクトでは、HPMXファイルの計算にポイントマッププロセスを追加できます。オプションで、ポイント マップ ラスタライズをオートメーションプロジェクトで定義して、指定したラスタライズ画像処理がレポートで自動的に反映されるようにすることもできます。

要件： APR Framework (Code 50000)
and/or: HEAD システム統合 & 拡張
(ASX) プログラムインターフェイス



お問い合わせ

〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町 134
横浜ビジネスパークウエストタワー 8F

電話： 045-340-2236
Eメール： headjapan@head-acoustics.com
ウェブサイト： www.head-acoustics.com